

第10期 メンバー募集のご案内

2023年11月29日(水) スタート

オープン・イノベーション推進者交流会議

～オープンイノベーション(OI)を推進する仕組み、OIの多様な展開、
新事業・次世代テーマの探索・創出と高付加価値の創造をめざす～

開催にあたって

日本企業には次代の中核事業を構築する新製品・新事業の開発が急務です。その中で「課題解決」「テーマ創出」から「新製品・新事業開発の変革」をめざすための手段であるオープン・イノベーション(OI)に注視し、積極的に取り組む企業が増えています。

企業研究会では、各社OI推進者が業種業態を超えて集い、OIの推進組織、マネジメント施策等について共同研究・分科会研究を行い、自社のOI推進に役立つ研究討議とその成果を共有すべく本交流会議を開設、今期で10年目を迎えます。第10期本交流会議開催にあたり、趣旨にご賛同いただき、熱意あるメンバーの方々のご参加をお待ち申し上げております。

開催

期間：2023年11月～2024年8月（全10会合）

日時：年間プログラムの開催日程に沿って開催（13:00～17:00）

開催：開催当初は「会場開催」と「オンライン（Zoom）開催」の併用開催となります。

*状況により順次会場開催（東京都内の会議室）を検討してまいります。

参加ご検討の方は
第1回例会を
「体験参加」頂けます
(要事前予約)

第1回例会

日時：2023年11月29日(水) 13:00～18:30

基調講演／オリエンテーション：前期分科会研究成果抜粋紹介／メンバー交流

基調講演① OKIのイノベーション・マネジメントシステム“YumePro”で挑む新規事業創出
～全員参加型イノベーションの取組みと実践～

（ご講演）沖電気工業株 執行役員 イノベーション責任者（CINO） 藤原 雄彦 氏



ご歴歴

1987年沖電気工業株式会社入社、以降、通信ネットワーク事業本部、ネットワークシステムカンパニー、情報通信事業などにおいてパートナービジネス部長、サービスプラットフォームマーケティング部長、通信システム事業本部共通技術センタ長、IoTアプリケーション推進部長、経営基盤本部イノベーション推進部長等々を歴任。20年イノベーション推進センター長、21年 執行役員 イノベーション責任者（現）兼 技術責任者、23年イノベーション事業開発センター担当（現）。

第2回例会

日時：2023年12月13日(水) 13:00～17:00

基調講演／交流シートによるグループディスカッション

基調講演② マーケティング&イノベーションによる新規事業創出

（ご講演）旭化成株 顧問（元 常務執行役員 マーケティング&イノベーション本部長） 田村 敏 氏



ご歴歴

1984年旭化成工業株式会社（現旭化成㈱）入社。旭化成エレクトロニクス㈱にて半導体事業の部長を歴任。12年同社・生産センター長、13年同社・センシング事業部長、14年同社・執行役員、15年同社・代表取締役社長兼社長執行役員。19年旭化成㈱ 常務執行役員兼マーケティング&イノベーション本部長として、既存組織にとらわれない新規事業創出を推進。21年同社・グリーンソリューションプロジェクト長を兼務し、全社のカーボンニュートラル実現に資する新規事業構想を立案。22年同社・顧問に就任。現在に至る。

第3回例会

日時：2024年1月17日(水) 13:00～17:00

アドバイザー講演／テーマ別分科会討議開始

コーディネーター講演 ISO56002に基づくオープン・イノベーションの
マネジメントシステム「OI-IMS」創りの重要性

（ご講演）(一社)Japan Innovation Network 常務理事 IMSエバンジェリスト（元 大阪ガス㈱ オープン・イノベーション室長）
「本推進者交流会議」全体コーディネーター 兼 ファシリテーター



松本 毅 氏

【テーマ別分科会討議開始】固定メンバーでグループを編成し、以降、継続討議頂きます。

第4回例会

日時：2024年2月7日(水) 13:00～17:00

現地訪問／テーマ別分科会討議

【現地訪問】京セラ みなとみらいリサーチセンター

～技術展示、共創スペース、工房、デザインルームなどの見学、紹介、お取組み拝聴と意見交換～

【テーマ別分科会討議 第2回】

構成と推進体制

■全体コーディネーター 兼 ファシリテーター：松本 肇 氏

一般社団法人 Japan Innovation Network 常務理事
IMS(イノベーション・マネジメントシステム)エバンジェリスト
(元 大阪ガス株式会社 オープン・イノベーション室長)
大阪大学大学院工学研究科 ビジネスエンジニアリング専攻 客員教授



【経歴概略】 1981年に大阪ガス㈱入社後、数々の新規事業創出に成功。凍結粉碎機の開発、受託粉碎ビジネス立ち上げ。特別プロジェクトグループリーダー。薄膜センサーの研究開発・事業化。基盤研究所研究企画リーダー。東京駐在として、技術開発国家プロジェクトを多数立ち上げた。技術企画室課長。大阪ガスの全社技術戦略の企画立案。海外との技術アライアンス戦略などを推進。人事部で日本発のMOT(技術経営)スクールを設立し、教育事業を推進。2008年9月、技術戦略部 オープン・イノベーション担当部長、2009年4月、オープン・イノベーション室長。

2016年4月から2019年2月まで、株式会社ナインシグマ・ジャパン ヴァイスプレジデント。2019年3月から2020年9月までナインシグマ・アジアパシフィック顧問。2020年から兼務でリンクアーズ株式会社 顧問(Open Innovation Evangelist)

国立研究開発法人科学技術振興機構(JST)「自己評価委員会」委員／内閣府日本オープンイノベーション大賞専門委員会委員／NPO法人产学連携学会 理事／大阪市「イノベーション創出支援補助金検討会委員会」委員長／経済産業省「グローバルオープンイノベーション」に向けた国際共同研究の在り方に関する調査委員会委員／日本学術振興会「『未来を創造するイノベーションサイエンスの創成』に関する先導的研究開発委員会」委員／文部科学省・JST国プロ「理化学研究所 健康“行き活き”リサーチコンプレックス推進プログラム事業化支援グループ」ディレクター／(理化学研究所・非常勤職員 2015年～2020年)

■研究アドバイザー：研究討議に助言・コメントを頂きます。

一般社団法人 Japan Innovation Network アドバイザー
(元 P&Gイノベーション合同会社 研究開発本部ヘッド オープンイノベーション 〈日本・韓国〉)

J.ラーダー キリシャナン ナーヤ 氏

■運営幹事：メンバーを代表し本会議の企画・運営にご支援ご協力を頂きます（氏名50音順）。

（株）ニチレイ 戦略本部 新価値創造部

高田 理一朗 氏

富士フィルムビジネスイノベーション（株） デバイステクノロジー事業本部 画形材開発推進G 中曾 優 氏

日本製紙（株） 企画本部 SN推進センター 主席調査役

南藤 和也 氏

日立建機（株） オープンイノベーション推進室 主任技師

西口 仁視 氏

サントリーグローバルイノベーションセンター（株） 研究推進部 主幹研究員

前川 知浩 氏

味の素（株） バイオ・ファイン研究所 企画・推進

山下 機 氏

ほか実務家数氏にご依頼、ご調整中

本交流会議の特長と基本方針

■特徴：異業種研究交流会の価値

1. オープン・イノベーションの目的、組織の役割機能、社内外連携、仕組みづくりなど、具体的な進め方や新潮流など、先進事例研究・ゲスト講演から理解が深まります。
2. 知識、経験の交流を深めることにより、業種・業態・組織の壁を超えた新しい発想や手法を学ぶことができ、また、共同研究（分科会討議活動）を通じて、現場で活かせる施策を共有します。
3. 単なる情報交換だけでなく、情報や意見の背景にある実務に直結したノウハウの交換が行えます。また、社内外のネットワークを広げ、パーソナルバリューの向上、メンバー企業間の交流にもつながります。

■基本方針：会合の参加に際してのお願い

1. 会議の目的達成のため、可能な限りギブアンドテイクをモットーに参画する
2. 本音ベースの議論を深めるため、互いの守秘義務を遵守する。
3. 企業規模、役職、経験に関係なく積極的に参加する。

第10期の年間プログラム

例会	研究テーマ／講演・討議内容
第1回 2023年 11/29(水)	<p>【基調講演①】OKIのイノベーション・マネジメントシステム”YumePro”で挑む新規事業創出 ～全員参加型イノベーションの取組みと実践～ 沖電気工業㈱ 執行役員 イノベーション責任者(CINO) 藤原 雄彦 氏</p> <p>【オリエンテーション：前期分科会研究成果抜粋紹介／メンバー交流など】</p>
第2回 12/13(水)	<p>【基調講演②】マーケティング&イノベーションによる新規事業創出 旭化成(株)顧問(元 常務執行役員 マーケティング&イノベーション本部長) 田村 敏 氏</p> <p>【交流シートによるグループディスカッション】</p>
第3回 2024年 1/17(水)	<p>【コーディネーター講演】ISO56002に基づくオープン・イノベーションのマネジメントシステム「O-IMS」創りの重要性 (一社)Japan Innovation Network 常務理事 IMSエバンジェリスト 松本 毅 氏</p> <p>【テーマ別分科会討議(※)開始】固定メンバーでグループを編成し、以降、継続討議頂きます。</p>
第4回 2/7(水)	<p>【現地訪問・お取組み拝聴】京セラ みなとみらいリサーチセンター 技術展示、共創スペース、工房、デザインルームなどの見学とお取組み拝聴と意見交換</p> <p>【第2回 テーマ別分科会討議】</p>
第5回 3月中旬 調整中	第5回例会以降は下記の時間構成で進めてまいります。
第6回 4/17(水)	<p>第1部 ゲスト講演 13:00～15:00</p> <p>ゲスト講演では、主要企業のOI担当幹部、推進リーダーをゲストに招き取り組み事例を拝聴。また、施設を訪問しての意見交換も検討。</p>
第7回 5月中下旬 調整中	<p>第2部 テーマ別分科会討議(※) 15:00～17:00</p> <p>*日程等が変更となる場合がございます。その際は速やかにご案内いたします。 *第7回例会(5月中下旬開催)では、一泊二日の合宿研究会を予定。 *お取り組み取材インタビューやメンバーアンケート、懇親会なども企画しています。</p>
第8回 6/12(水)	
第9回 7/17(水)	<p>【分科会による集中討議～最終例会に向けたまとめ】 これまでの議論を整理し、課題解決策、現場で活かせる提案等にまとめて頂きます。</p>
第10回 8/28(水)	【最終例会】分科会研究討議成果の発表と新たな課題意識の共有

第3回例会(1/17)からの「テーマ別分科会討議(※)での課題・テーマの例」

- OI推進の仕組み、活動
～推進体制、推進課題、課題克服法、など…
- ISO56002イノベーション・マネジメントシステム(IMS)に即した仕組みづくり(エントリーフェーズ)
- OIニーズ、課題の選出方法
～成功要因、阻害要因の克服、目標設定、テーマ評価基準、など…
- 新規事業創出のためのOIの活用
～OIの多様な展開～
- OI推進人材の役割と育成 その他、「外部情報の収集方法」など

左記の課題・テーマの
例示を参考に、問題意識の強い
希望テーマに分かれて
分科会を編成し、継続的に
議論・討議頂きます。

前期(第9期)では、下記4つのテーマ別に分科会を編成し、継続議論を行いました。

異業種各社のOI推進者が、取り組み事例や知見を持ち寄り、
またアンケートやインタビューなども実施しながら、

自社・自己課題解決の考え方、対応策、今後の展開方策を研究討議しました。

- 【第1分科会】OI推進の仕組み・活動(8社／8名)
- 【第2分科会】IMSに即したOIの仕組み・活動(8社／8名)
- 【第3分科会】OIニーズ、課題の選出方法(9社／9名)
- 【第4分科会】新規事業創出のためのOIの活用(11社／11名)



前期（第9期）の活動経過

第1回	【基調講演】ダイキン工業の協創イノベーションへの挑戦 同社 執行役員テクノロジー・イノベーションセンター副センター長 【オリエンテーション／前期成果報告／課題意識の提示／メンバー交流】
第2回	【基調講演】100年企業の挑戦 マーケティング・マインド企業だけが生き残る 【グループ討議による課題意識の共有】
第3回	【テーマ別分科会討議、第1回】希望テーマアンケートを実施後、固定メンバーで分科会を編成し、以降、継続討議
第4回	【ゲスト講演】東京ガスの新規サービス開発事例 【テーマ別分科会討議、第2回】
第5回	【コーディネーター講演】IMSに即したオープン・イノベーションの仕組みの構築と実践 【テーマ別分科会討議、第3回】
第6回	【ゲスト講演】シリコンバレーの脱炭素イノベーションと日本の現在地 東北電力(株)事業創出部門アドバイザー 【テーマ別分科会討議、第4回】
第7回	【ゲスト講演】オープンイノベーションを加速させる社内情報連携の仕組み、活動 リンカーズ(株)代表取締役 【テーマ別分科会討議、第5回】
第8回	【メンバー話題提供】オープンイノベーション事例紹介 【テーマ別分科会討議、第6回】
第9回	【テーマ別分科会討議、第7回】これまでの議論の整理と成果報告に向けての集中討議
第10回	【分科会活動報告会】議論・研究討議の報告と成果資料交換・全体共有

前期（第9期）参加企業

IHI	グローバル・営業統括本部 グローバル戦略部	太陽誘電	開発研究所 開発企画部(3名)	日本製紙	企画本部 SN推進センター
味の素	バイオ・ファイン研究所	武田薬品工業	センター・フォー・エクストラナルイノベーション	日本製紙	バイオマテリアル事業本部
オルガノ	開発センター企画管理部	武田薬品工業	R&D エクストラナルコラボレーション	日本製紙	研究開発本部
オルガノ	技術開発本部 新事業推進部	ナブテスコ	技術本部 事業企画部	日本特殊陶業	ビジネスデザイン本部 ベンチャーラボ東京課
カネカ	Global Open Innovation企画部(2名)	ニチレイ	戦略本部 新価値創造部	日本ゼオン	研究企画管理部
関西電力	経営企画室イノベーションラボ(2名)	ニチレイ	知的財産グループ	日立建機	オープンイノベーション推進室(3名)
京セラ	オープンイノベーション推進部(3名)	ニチレイフーズ	業務用第二グループ	富士フィルムビジネスイノベーション	
サントリーグローバルイノベーションセンター	研究推進部(2名)	日鉄ケミカル&マテリアル	機能材料戦略企画部		デバイステクノロジー事業本部(2名)
積水化学工業	開発研究所 開発企画部	日鉄ケミカル&マテリアル(株)	総合研究所 研究企画部	三菱ガス化学	東京研究所(2名)

参加要領

【事業コード：230171】

■参加費（1口で2名までご参加頂けます）

正会員	308,000円 (本体価格280,000円)	一般	330,000円 (本体価格300,000円)
-----	----------------------------	----	----------------------------

- ◆分割等のお支払いも可能です。ご相談ください。
- ◆上記参加費には、資料代、懇親会費と合宿研究会の1名様分の費用（※）を含みます。
- ※合宿研究会に2名でご参加の場合、他に1名分として33,000円(税込)をご負担頂きます。
- ※合宿研究会時の行き帰りの交通費は含まれません。
- ◆年間スケジュール以外の特別会合や懇親会、見学会等実施の際に別途実費を頂きます。
- ◆コンサルティングやオープンイノベーション仲介・支援関係の方々のご参加はご遠慮頂く場合がございますので、予めご了承下さい。

■申込方法

- WEBからの申込
企業研究会のホームページからお申込み下さい。
- Eメールでの申込：下記担当まで以下をお知らせください。
 ①御社名、②郵便番号／所在地、③参加者お名前（ふりがな）、
 ④ご所属・お役職、⑤メールアドレス、⑥電話番号、
 ⑦「正式参加（※1）」または「体験参加（※2）」
 ※1 正式参加の方には請求書をお送りいたします。
 ※2 正式参加の前に体験参加を承っております（要予約制）。

■お問合せ・お申込先

一般社団法人 **企業研究会** 担当：小野原（おのはら）
 E-mail : onohara@bri.or.jp TEL : 080-1393-5593
 〒110-0015 台東区東上野1-13-7 ハナブサビル <https://www.bri.or.jp>